

平成25年度 子どもたちとつくる

「やさしいまち伊勢市」支援事業

< 取り組み紹介 >

☆明野幼稚園

11月25日御菌大根の収穫・1月10日漬物づくり

明野高校の生産技術科の生徒と一緒に収穫した御菌大根を食品化学科の生徒と大根の甘酢漬けを漬けた。食育ボランティアと一緒に七草粥を作ったときに、甘酢漬けを食べた。「すっぱいけどおいしい」と言ってお代わりをしていた。保護者にも振舞うと「どうやって漬けるの?」と聞かれ、レシピを教えた。



☆明野小学校

① 5月14日 5年生田植え

三重県立明野高等学校生産技術科の生徒の皆さんと5年生がコラボレーションし、明野高校の田で「田植え」を行った。高校生の皆さんと共に泥まみれになって苗を植えることができた。

これらは、9月に稲刈り、1月に餅つきをしながら振り返りを行った。

② 6月24・25・26日 手話教室

10月に行われる3年生の学年発表に向けて、地域に在住の生木幸利さんに手話で

「世界にひとつだけの花」を指導していただいた。





- ③ 7月3日 児童会活動「老人会やボランティアさん、ありがとう」
登下校等の時に、学校安全ボランティアとしていつも通学路で見守りをして
くれている方々を学校に招待して、感謝の手紙と花を手渡したり、5年生
の学年発表を觀賞していただいた。また、地域のおじいさんおばあさんへ
も絵葉書を描いた。ほのぼのとした温かい内容だった。

～児童の作品より～

「いっしょにお祭りいこうね」
「いつもやさしくしてくれてありがとう」
「しあわせいっぱい夏にししようね」
「暑さにまげず、がんばってください」
「いつまでも長生きしてください」
「年を言うと若いって言われるよ」
「よく遊んでくれてありがとう」
「いつもありがとう。体に気をつけて元気でいてね」



④ 9月 出会い学習



9月18日・30日に、6年生がキャリア教育の一環として、
たくさんの方々と出会いの学習を行った。医師やすし職人、
様々な人との出会いの中から、仕事とはどういうものなのか、
将来自分のやりたいことをしていくために今の自分に何が
できるのかを考えさせた。

子ども達は、小児科の先生には、聴診器を、おすし屋さん
には包丁の技や生のマグロを見せていただき普段体験でき
ないことを体験させてもらった。



⑤ 10月9日 特別支援学級「なかよし学級」調理実習

中華料理店を経営している調理師 刀根雅拓氏を講師に迎えて、調理実習を
行った。8名の児童と共に、「杏仁豆腐」「シューマイ」「紫芋のポタージュ」
を作り、試食した。中でも紫芋は、学校の畑の「ふれあい畑」で地域の橋
爪喜一さんの協力を得て収穫されたものである。



⑥ 11月22日 学校公開デー

・人権集会で外国籍児童による自国の紹介、「世界のことをもっと知ろう」を5名の児童で、中国・フィリピン・ネパールの3カ国を紹介した。

(4年児童の感想)

明野小学校にいる違う国で生まれた人たちは、「日本をすごくいいところ」だといってくれたから、「うれしいなあ」とすごく思いました。ちがう国でも、いいところがあると思うし、すてきなところもたくさんあるんだということがわかりました。ちがう国で生まれても、思うことや分からないことはどこでもおなじことだと思いました。私たちがちがう国に行ったら、分からないことがある。だから、ちがう国の人たちも分からないことがある。そういうことを考えて、ちがう国の人とも仲良くしていったらいいと思いました。ちがう国の人たちが日本を気にいってくれてよかったと改めて思いました。

